広報 にのみや

第197号　発行日 5月10日　編集 二宮町広報編集委員会　発行 二宮町企画課　二宮961番地　電話71－3311

二宮町町民憲章

1. 郷土を愛し、自然をいかすきれいな二宮町をつくりましょう。
1. ふれあいを深め、ことばをかけあうさわやかな二宮町をつくりましょう。
1. きまりを守り、良習をはぐくむ住みよい二宮町をつくりましょう。
1. 幸せを願い、健やかな、明るい二宮町をつくりましょう。
1. 教養を高め、文化のかおる豊かな二宮町をつくりましょう。

国鉄 松浦地下道が開通

周辺に歩行者優先の交通規制

昭和四十八年より始った国鉄東海道複々線工事の関連事業は、すでに線路の側道一、八〇〇㍍、吾妻山橋、川勾陸橋、内原跨線橋、梅沢川の河床整備、原田地下道等が完成し、このほど松浦踏切り立体化の松浦地下道が完成しました。これにより、残された事業は押切鉄橋下の岩盤工事だけになりました。

四月末、国鉄松浦地下道が完成し、五月一日午前十時より通行を開始しました。

松浦地下道は、昭和四十八年九月に工事を始め、約九千万円の工費と五年半の歳月をかけて完成したもので、東海道本線の複々線化による関連工事は、当町内では押切鉄橋下の岩盤工事を残すだけになりました。

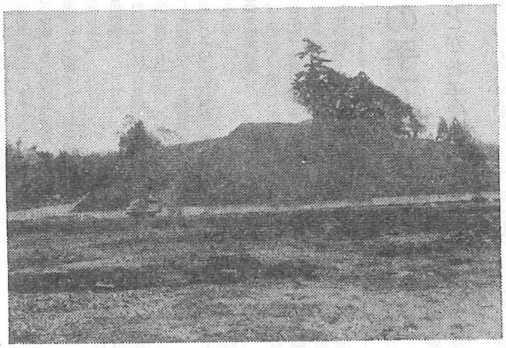
長い工事期間中、地元の方がたをはじめ関係住民のみなさんにいろいろと協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

なお、松浦地下道の開通により松浦踏切と梅沢の釜野踏切は閉鎖されました。

これにより地下道や周辺地域には図のように交通規制がなされましたので、運転者のみなさんはご注意ください。

地下道は取付道路を含めて、南側（海側）からの一方通行です。自動車の車体の幅は二㍍まで、高さは三㍍までに制限されます。自転車での通行はかならず降りて通ってください。従来、百合が丘、中里方面より釜野、松浦踏切を経て国道一号線へと往来してきた自動車は、めんどうでも中里四ツ谷交差点から県道秦野二宮線を通って国道一号線へと出てください。

地下道周辺や釜野、川勾、百合が丘地域の道路は、そのほとんどが通学、通園路です。登下校時間帯にこの地域を通行する車両は格別の注意をお願いします。



二宮西中学校の敷地（川勾御嶽下）

投票率は29・25％

県知事一位はながす氏　知事選挙

四月八日の統一地方選挙は、当町では、さきに小沢伸泰さんが県議会議員選挙を無競争三選をきめて、県知事選挙の投票だけでした。

この影響を受けたことと、午前中から降りだした強い雨で有権者の出足が悪く、投票率は29・25％で昭和四十二年二月の参議院議員補欠選挙の27・9％に次ぎ低調でした。

しかし、町内七つの投票所へは強い雨の中を五、一二一人の有権者が訪れ、投票をしてゆきました。

なお、二宮町の開票結果は次のとおりです。

区分＼投票所別		公民館二宮町第一投票所	体育館第二投票所	二宮中学校第三投票所	梅沢公会堂第四投票所	いこいの家茶屋老人第五投票所	体育館一色小学校第六投票所	第一公会堂百合が丘第七投票所	中里児童館第七投票所	合計
有権者数（人）	男	2,085	1,279	1,249	664	1,207	1,186	740	740	8,410
	女	2,276	1,399	1,374	709	1,311	1,249	746	746	9,064
	計	4,361	2,678	2.623	1,373	2,518	2,435	1,486	1,486	17,474
投票者数（人）	男	680	406	418	221	329	329	207	207	2,590
	女	673	394	393	204	322	329	206	206	2,521
	計	1,353	800	811	425	651	658	413	413	5,111
投票しない者の数（人）	男	1,405	873	831	443	878	857	533	533	5,820
	女	1,603	1,005	981	505	989	920	540	540	6,543
	計	3,008	1,878	1,812	948	1,867	1,073	1,777	1,777	12,363
投票率（％）	男	32.61	31.74	33.47	33.28	27.26	27.74	27.97	27.97	30.80
	女	29.57	28.16	28.60	28.77	24.56	26.34	27.61	27.61	27.81
	計	31.02	29.87	30.92	30.95	25.85	27.02	27.79	27.79	29.25

名前は二宮西中学校

仮称第二中の校名きまる

現在、川勾に建設を進めている仮称町立第二中学校の校名がこのほど決まり、「二宮町立二宮西中学校」と名付けられました。

新校名は、さる三月、みなさんが応募された八九通、二五とおりの中から、

① 学校の位置がわかること
② 親しみやすいこと
③ 将来を考えること
④ 学区民を考えること

の四点と、校名が二宮中学校との格付けや地域に片寄る印象を与えないことなどを選定基準として、町長、教育委員、小中学校長、小中PTA会長、区長代表など二六名による校名設定委員会（議長・高木教育委員長）で数回にわたり審査、検討を重ねました。さらに教育委員会議で審議した結果、仮称町立第二中学校を「二宮町立二宮西中学校」として、四月二十七日の町議会臨時会に二宮町立学校の設置に関する条例の改正案を提出し、議決されました。

なお、新校名をお寄せくださった七名の方には記念品を、その他の方には参加賞を送ります。

七五票	高田　がん
四、六七二票	ながす一二
二三八票	山本　正治
四一票	吉川　朝臣
四〇票	白紙投票
四四票	その他の無効投票
一票	持ち帰りと思われるもの

また、投票所別の投票率は上の表のとおりでした。

二宮西中の建設始まる

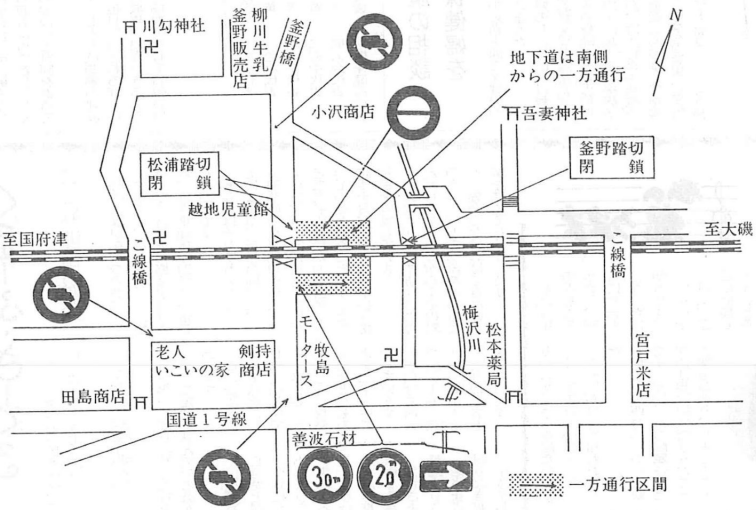
五月一日、町立二宮西中学校の建設工事が始まりました。

完成は来年三月、四月に開校する予定です。

鉄筋コンクリート四階建て二、八〇〇平方㍍の校舎や、一、二五〇平方㍍の体育館など、工事は戸田建設株式会社横浜支店が請負いその契約は四月二十七日の町議会臨時会で承認されました。

十か月にわたる工事期間中、地元川勾地区の方がたにはいろいろと迷惑をおかけすることになりますが、工事が一日も早く完成するよう協力ください。

松浦地下道周辺の交通規制



こんにちは　原です

本年二月に開かれた二宮町の総合計画審議委員会で住民意識調査の集計結果を見せてもらいました。二宮町は「非常に住みよい」と答えられた方一六％、「まあ良い」と答えられた方四九％ですから六五％の方は二宮町を住みよいと考えておられます。そして二宮に永住したい」と答えられた方六一％、「当分住み続けたい」と答えられた方一八％ですから八九％の方は二宮を離れたくない方でしょう。この結果から見る限り、二宮町が住みよい町と言えると思います。私も二宮に移り住んで三十余年、住みよい町だと思っています。

では町で今何を一番やってもらいたいのか。これには第一順位として「駅前広場の再開発」が要望されています。町民はひとしく二宮駅の南口北方面の都市計画、橋上本屋の建設を待望しています。このことは柳川町長も公約されており、やる気十分なので、何としても実現していただきたいのです。しかしこれには周辺の住民の方々の協力がなければ町だけでは到底できません。これが実現すると二宮町の様相は一変すると思われます。

第二順位の「駐車場、自転車置場の設置」なども駅前広場の計画に当然入ってくることでしょう。

私は小田原市の助役を昭和二十四年から十五年間勤めましたが、小田原駅表玄関の東口広場は四、六四〇平方米、昭和二十年に出来ました。その後地下街を造るとき、これを五、七〇〇平方米に拡張し昭和五十一年に完成しています。西口広場は六、四五〇平方米、昭和三十九年新幹線の開通に間に合せたものです。何れも今日となっては、もう少し拡げておけばよかったと思われます。

一方鴨宮駅に南口を開設することを、昭和三十年頃から国鉄に要請していましたが実現せず、ようやく昨年鴨宮駅南部の土地区画整理がほぼ完成し、南口広場三、六〇〇平方米が出来た時点で、国鉄は橋上本屋を造ってくれました。都市の玄関口を造ることは、長い間の努力の積み重ねで実現することを、私は経験しています。

二宮駅前広場の再開発が進むと商店街も整備されて来るし、バス路線も変って来ると思います。東海道線の複々線が実現すると二宮から東京横浜方面へ通勤する時間が短縮され、二宮はますます住みたい人が増えてくるのではないでしょうか。そうなると二宮駅の乗降客は更に増えることになります。

二宮町の人口は本年三月一日現在二六、三二四人ですが将来人口の推計では昭和五十七年に三、六一四人、昭和六十年に三四、五三七人となっています。町では開発区域の制限などをして人口の抑制をはかっておりますが、今後相当多くの流入人口を予想しなければならないと思われます。このことを想定して二宮駅周辺の再開発を是非促進してほしいと思います。

山西二〇番地
前小田原市助役
原　元助

新じん芥焼却場
中里地区で説明会
関心の的は公害問題

ゴミ処理の問題は全国のほとんどの市町村が悩める問題として取り組んでいますが、特にクローズアップされたのは高度経済成長期のいわゆる大量消費時代に端を発したものです。当町でも生活環境の保全として早急に整備を計らなくてはなりません。

すでにお知らせしたとおり、ゴミ質の変化や増量が現在の焼却施設（つばき園）では処理しきれない状態であり、じん芥焼却場候補地案などを説明し、みなさんにご理解とご協力をお願いしてきました。その新じん芥焼却場候補地案として桜美園周辺が最適地として考えられていますが、先般中里地区などの関係住民のみなさんに説明会を開き、町が計画を進めている新じん芥焼却場はどのような施設がよいかを説明したところ、生活環境の保全がはかれる無公害施設であるか否かが出席者にとっての大きな関心事でした。

しかし、図面等による説明では理解しにくい点が多々あるとのご意見から、一度実際にそれらの施設を視察し、認識を高めたいとの要望が提起され、近々先進施設を見学していただくことになりました。

日進月歩の今日、社会が要求していることに対する技術開発には想像しえなかった画期的なじん芥焼却施設が考案され、すでに処理を開始しているところもあります。これらの無公害施設がみなさんの要求に応えるものであり、環境の保全上からも必要なことと考えられます。

したがって中里地区のみなさんに近々視察していただく施設は無公害であることはいうまでもなく周辺の環境に適応する施設が第一条件であり、そのゴミ処理施設の概要はつぎのとおりです。

みなさんの家庭から出されたゴミをじん芥収集車で焼却場に運び込まれるとします。

❶貯留ホッパー
ゴミの貯留を簡単にかつ衛生的に行うため独特の密閉式貯留ホッパーを設け、自動投入装置を連動させることにより省力化を計るとともに、汚水の流出、ゴミの腐敗なども防ぎます。

❷自動投入装置
ゴミを定量（七〇〇㌔～八〇〇㌔）かつ自動的（二〇分毎）に焼却炉内に押込む装置です。

❸一次燃焼室
自動投入装置によって送り込まれたゴミは直ちに重油バーナーで燃焼されます。バーナーは炉内温度が設定温度に達するとともに自動的に消火します。

❹二次燃焼室
一次燃焼室でゴミを燃焼する際に発生する臭気を含んだ未燃ガス（煙）をここで再燃焼し、完全に分解します。

❺熱交換機
二次燃焼室で発生した高温排ガスの熱エネルギーを高温空気に換え、一次燃焼室に送りこむことにより、ゴミの乾燥、燃焼の促進をおこない、燃費の節減をします。

❻サイクロン
二次燃焼室で再燃されたガス中のばいじん量はそれ自体規制値を大幅に下回っていますが、さらに万全を期するためにサイクロンを通過させ無公害ガスとして大気へ放出します。

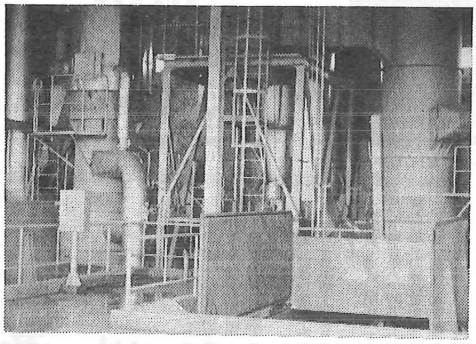
❼排気筒
臭気や煙は二次燃焼室で完全に燃焼分解されるため、拡散を目的とした従来のような高層煙突は不要で、ごく短い排気筒を設置するのみです。

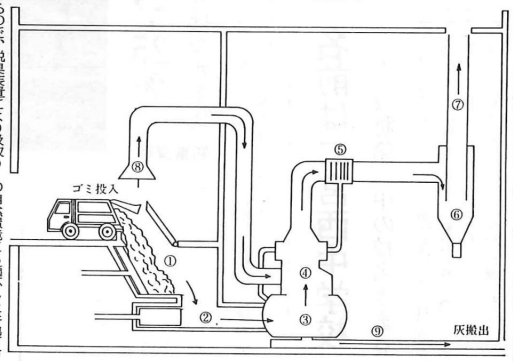
❽臭気脱臭装置
ゴミの投入に際して密閉式を用いるため、臭気の発生はほとんどありませんが、じん芥車からのゴミ排出時はどうしても臭気が発散するので、脱臭装置により吸取り二次燃焼室へ送り込み、燃焼分解します。

❾灰輸送機
自動灰押出装置によって落下した灰は灰輸送機によって残灰処分地へ運びます。

焼却能力が一日当り三五㌧の新しいじん芥焼却施設の計画は四万人の将来人口を想定し、それに対応できる施設であることと、周囲の自然環境にも適応した半地下方式で排気筒を建物の中に納めるなど、美観の面も含めて新しいじん芥焼却場の建設へと計画を進めています。

一日も早くじん芥焼却場の建設を実現し、毎日排出されるゴミがスムースに収集、処理できるようご理解とご協力を重ねてお願いいたします。


栃木県石橋町の焼却場内部



民町・県税
所得控除の引上げ

健康は自らの手で
普及員などがお手伝い

最近の私たちの健康水準は食生活等の向上で年々良くなり、日本人の平均寿命は男七二歳、女七七歳と世界の一、二位を競う水準に達しました。

しかし、交通機関の発達などによる運動不足、豊かな食生活による栄養の取過ぎ、社会環境等の複雑、多岐による精神的ストレスの増大という現象が生じ、病気ではないが体がだるい、疲れがなかなかとれない、なんとなく気分がすぐれないなどの症状を訴える人が増えています。このような傾向は体力の衰え、貧血、肥満、糖尿病などの慢性疾患に結びついて数年前から脳卒中、悪性新性物、心臓病などのいわゆる成人病による死亡者が年々増加しています。

これらのことから町では昭和五十三年度より健康づくり運動の環として「二宮町健康づくり推進協議会」を設置し、みなさんに密着した健康保持増進と管理に必要なる健康づくり対策を積極的に推進するため、町議会議員、区長、衛生委員、医師など十三名の委員により総合的な体系的な企画を審議しています。

また、各種事業への参加呼びかけや実践活動をしていただくために「健康かながわ普及員」として衛生委員と平塚ママの会二宮支部より二名を選出し、健康づくり運動の認識を深めるための育成講習会などを開催しましたが、今年度は三〇名に増員し、より活発な活動を展開してみなさんに趣旨のご理解をお願いします。

明るい町づくりのためにもみなさんがこの運動に参加され、より健康な毎日を送っていただきたいものです。

地味な運動ですが、町も積極的に取組んでいますので、みなさんの理解と協力を得るとともに各種事業への参加をお願いします。

なお健康づくり推進協議会委員はつぎのとおりです。（敬称略）

小沢　薫	二宮小代表
伊勢田博司	一色小代表
市川　茂	山西小代表
竹内　寛	二宮中代表
髙橋　ヤス	婦人会代表
杉本　博俊	平塚保健所代表
雫谷　長蔵	町議会代表
臣田　繁雄	町議会代表
諸星　直利	衛生委員代表
髙橋　政治	民生委員代表
倉田　幹彦	医師会代表
鈴木平八郎	商工会代表
西山喜德郎	体育協会代表

六年度まで引続き宅地なみ課税の対象外とし、一般農地に準じた税負担となります。

額措置は適用期限を二年間延長し昭和五十六年一月一日までとしました。

ガス税
ガス税の免税額を現行の六〇〇円から七〇〇円に引上げ、六、

健康の相談に保健婦を

四月一日から衛生課で保健婦がしごとを始めました。

町の保健婦のしごとは、母親教室、乳幼児やお年寄りの健康相談、ねたきり老人や身障者の生活指導、国民健康保険加入者の疾病予防などのほか、町体育祭や地域の健康づくり運動にも参加して指導にあたり、みなさんの健康の維持、増進に少しでも役に立つよう務めます。

ぐるーぷ・さーくる

二宮町 俳句協会

町内には現在八つの俳句グループがあり、これらを一つに統合して二宮町俳句協会が設立され、町文化団体連盟では一番新しい団体です。

勉強会はそれぞれ分れて行っていますが、新年合同句会、川匂神社例大祭奉納句俳句大会、文化祭、二宮の俳句の発行など九名の会員が力を合せて行っているということです。また、昨年十月、川匂神社に奉納句掲示板を設置しています。

将来は俳句大会や俳句にちなんだ行事を行いながらその町のグループとの交流を深めるなど、協会でなければできない事業を進めて行く予定です。

二宮町 短歌会

毎月第一月曜日に社会福祉センターで短歌を詠んでいる会があります。

この会は二宮町短歌会と言い日常生活の中で ふと感じることやけしき、喜怒哀楽などをそのまま三十一字に託しています。

会員は三四人で四〇～五〇歳代の主婦が中心となり初心者も多いそうです。

入会ご希望の方は西山隆三会長（電話71－九七九四）へ。

毎月一回行う勉強会には一人一首以上を持ち寄り、互いに批評したり、良い歌の選考なども しているということです。

将来は平塚や小田原などの愛好者と合同の短歌会や町内で吟行会などを開催したいと意気盛んです。

入会ご希望の方は山口八郎会長（電話71－二二四八）へ。

短歌会員の秀歌

亡き姑と暖をとりにし遠き日の
火鉢に今は水運ぶ　竹内なかえ

小雪まうホームのすみに固まりし
手話する少女頬赤くして　池田　忠義

五十年息合せ来し老ふたり
記念写真送りびたり　山口　八郎

真白なる富士の山根の夕映えに
雲おさまりてしずかに暮るる　土田たきの

軒端より入り来し夕陽の砕けいて
影さまざまに厨は明かし　原口　敏子

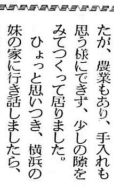
限りなき寂寞の日はひたすらに
生き来し日々を憶いなぐさむ　寺田　雪枝

ひとこと

私は幼い頃から植木がすきで色々植えて楽しんでいましたが、農業もあり、手入れも思う様にできず、少しの暇をみてつくって居りました。

ひょっと思いつき、横浜の妹の家に行き話しましたら、妹のつれあいが何か所も見せてくれ、ずいぶん参考になり早速手入れをし、大分枝の配置もよくなりました。

今度は盆栽ですが、太つぼをはっきり覚えなければなりませんので、東京の芝に居ります。



二、三年で大分形もよくなりましたが、どの鉢の松も葉が延びすぎてどうもうまくなく心痛のていたところへ、毎年廻ってくる富山の薬屋さんが来て教えてくれました。

私の家にも植木は数知れぬほどあり、盆栽、庭木では黄金のキャラで一〇〇万円で売ってくれと言われましたが家のたからの為売りませんでした。盆栽では錦松、四国の黒松、五葉松等で鉢物は一七〇鉢ある夏は水くれが大変ですが楽しみです。

私も本年で八十六歳です。上半身には少しもわるい所はありませんが、腰がわるいのが残念です。皆さんも一つの趣味をおもちになると健康によいと思います。お金もかえる試験よい事と信じます。

一色一、〇五三番地　橘川若三郎（明治26年生）

ます弟の家に行き、三越デパートに連れていってもらい、屋上の盆栽を見ました。殊に目についたのは松の盆栽で、三〇年も前の事ですが、五万三〇万もの品に驚きました。家に帰り、手入れを始めました。

程あり、庭木では黄金のキャ

私の想うまま

私は今年の春短大を卒業し、四月に社会人になったばかりです。

昨年の十一月頃、どこに就職しようかと考えている時、友人に誘われ落ちてもともとと練習のつもりで今の会社を受け、運よく受

りのスケジュールはだいぶ厳しく、学生時代のののんびりした時間が懐しく思われました。

いよいよ四月二日から出勤です。幸い、私の配属された課の仕事は短大で学んだことと関連があり、今までのことがいかされるかと思います。

今では入社前の不安は消えて一日が恐しいくらい早く過ぎてしまいます。そして会場で一番気をつけているのは言葉使いです。上司や先輩の方と話している時、つい友達言葉が出てしまいそうになり

いので雑用のような仕事が多いのですが、ありがとう。ご苦労さん」と言われると嬉しくなります。お互いのほんの小さないたわり、そして思いやりの大切さを感じました。

やっと一人前になりかけたなぎ立て、厳しくなる職場の中で、ときどき「ご苦労さん」と言われると、ほっとします。

町の動き

4月1日～30日

23日　交通安全対策協議会議（春の全国交通安全運動等）
25日　衛生委員会議（昭和53年度事業実績報告等）
26日　例月現金出納検査（53年度3月分）
27日　農業委員会総会
　　町議会臨時会（二宮西中校舎新築工事請負契約等）
　　環境衛生処理運営審議会議
29日　長寿祭（～30日）
　　NHK素人のど自慢大会公開録画

工
議（委嘱状交付等）
さ名選定委員会議
会

会（35人が参加）
（広報5月号の編集等）

5月11日～20日
やってるかい
一度止まって　右左
春の全国交通安全運動

5月24日～30日
おかあさん　おうちの
カギはだいじょうぶ？
春の全国防犯運動

資産税は負担軽減の調整

さる三月三十日、国会で四月一日から施行する「地方税法の一部を改正する法律」が可決されました。町では議会を招集するいとまがなかったため、町・県民税の所得控除と軽自動車税について、三月三十一日に地方自治法一七九条による町長の専決処分として「二宮町税条例」の一部を改正し、四月二十七日に開催した町議会臨時会で承認を得ました。

町・県民税

所得控除が表―1のとおり引上げられました。また、扶養控除の引き上げに伴い、均等割のみを課される方の所得の非課税額を二八万円（改正前一七万円）に引上げました。

軽自動車税

軽自動車税の税額を表―2のとおり改正しました。なお、軽自動車税の減免対象に、構造が専ら身体障害者等の利用に供するための軽自動車を加えました。

固定資産税

本年度の土地の評価替えに伴う税負担の上昇を緩和するため、調整措置をとることになりました。

昭和五十四年度から昭和五十六年度までの各年度の土地に係る固定資産税は、本年度評価額の昭和五十三年度課税標準額に対する上昇率の区分に応じて表―3の負担調整率を前年度の税額に乗じた額を限度とすることになりました。

市街化区域内の農地は昭和五十

表―1 町・県民税の所得控除

控除の種類	改正後	改正前
基礎控除	21万円	20万円
配偶者控除	21	20
扶養控除	20	19
老人扶養控除	21	20
配偶者のいない1人目の扶養控除	21	20
障害者控除	19	18
特別障害者控除	21	20
老年者控除	19	18
寡婦控除	19	18
勤労学生控除	19	18

表―2 軽自動車税

車種			改正後	改正前
原動機付自転車	総排気量が50cc以下のもの		700円	650円
	50ccを超え90cc以下のもの		1,100	1,000
	90ccを超えるもの		1,450	1,300
軽自動車	二輪のもの		2,200	2,000
	三輪のもの		2,850	2,600
	四輪以上のもの	乗用 自家用	6,500	5,900
		貨物 自家用	3,650	3,300
	小型特殊自動車 農耕作業用自動車		1,450	1,300
	その他のもの		4,300	3,900
二輪の小型自動車			3,650	3,300

表―3 固定資産税の負担調整率

区分	上昇率	負担調整率
宅地等	1.3倍以下のもの	1.1倍
	1.3倍を超え1.7倍以下のもの	1.2
	1.7倍を超えるもの	1.3
一般農地	1.15倍以下のもの	1.05
	1.15倍を超え1.3倍以下のもの	1.1
	1.3倍を超えるもの	1.1

住民の声

「住民の声」は、町民のみなさんのご希望、ご意見を町行政に反映させるため、性別、年齢、職業を問わず登場していただいていますが、身の回りのことについてのご意見が多いので、登場していただくみなさんの居住地域を順番に替えています。

駅周辺の交通対策

二宮には一昔前の田舎の風情も人口増加により日毎に変動しつつある中で、特に朝夕の駅は混雑がひどく、夕刻上り下りの電車到着時にはバスとの連絡に間に合せようと狭いホームよりなお狭い階段に駆足で殺到している。

ホームへの転落や階段での転倒事故が起きないかと心配しているのは私だけであろうか。

電車とバスとの連絡時間の余裕が少ない時間帯（二十時前後のバスの本数が少ない）ではバスの発車時刻の改正が必要ではないだろうか。

また商店街では狭い路上の左右に商店の車や買物客の車が駐停車し、それに加え一部商店の商品陳列が路上に越境しています。そのため、狭い道路を一層狭くし、バス、車等の運行や歩行者を遅々とさせている。それらが交通事故を招く結果にならなければと思います。

以上事故が起きてからの安全指導や対策ではなく、現状を把握し、これを予測することが必要であり、駅、町としての対策を望んでいます。

百合が丘三―17―16　鈴木　真次（50歳）

大型店の誘致

私が二宮に越してきてまず感じたことは大手のスーパーマーケットやデパートがなく、買い物が不便だと言うことでした。

町内には昔からのお店がたくさんあり、ある程度のものはそろえることができます。しかし、スーパーマーケットやデパートのように一か所でいろいろな品物を買うことができず、品ぞろえも大型店にはかなわないようです。また、価格競争が現在はあまり行われていないせいか物価が高いようにも感じました。

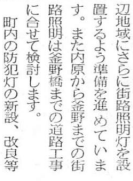
そのため、町内の消費者は小田原や立塚へ買い物に出かけることも多いようです。

私達消費者は地元の商店街でより便利に買い物ができるようになればどんなにか助かります。また、町の発展にも貢献できると思います。

一つの町にスーパーマーケット出店計画の話を耳にしましたが、最近はあまり聞きません。町が商店と消費者の意見を調整し、早期誘致を実現していただきたいと思います。

富士見が丘一―12―9　土谷　晴江（46歳）

防犯灯の整備



町内のいたるところに防犯灯があり、ひと昔前では考えられないくらい明るくなりました。

しかし、川勾に中学が完成したらもう少し明るくし、下校時の安全を図ってほしいと思います。また、内原陸橋から釜野までの新しい道路には銀灯をつけていただけないでしょうか。

裸電球やつぎの防犯灯までの距離が遠すぎ、またせっかくついていても木の枝などで暗い場所もあります。もう一度全町的な視野で見直し、整備、点検をお願いします。

山西一―二二―四　野谷　光男（34歳）

お答え　二宮西中学校の開校に合せ、釜野、川勾など学校の周辺地域にさらに街路照明灯を設置するよう準備を進めています。また内原から釜野までの街路照明は釜野橋までの道路工事に合せて検討します。

町内の防犯灯の新設、改良等は各地区の区長を通して要望していただき、毎年、全町的な視野に立って、企画課で現地調査をし、さらに防犯灯審議会で検討を加えています。（企画課）

中学生の校外生活についてのお願い

先月の住民の声「中学生の悪ふざけ」について皆様に学校でせていただきたいと思います。

現在バス通学者は五百名で全校生徒の四割にもなります。このような現状ですから、毎学期始めにバス乗車心得を指導しておりますし、学級指導の中で、あるいは実地に係の先生による車中指導も行っております。

生徒からの反省を聞きますと車中での大声、座席を巡っての争いする、帽子の投げ合いをする等です。「バスがむりにゆすりは事実としてあるのでしょうか。

そこで要望ですがバス乗車を含めての校外生活で中学生としてお願いしたいと思います。

最後になりましたが、貴重なご忠告を感謝しております。

今後ともよろしくお願いいたします。二宮中学校生徒指導部

広報編集委員がきまる

今年度の二宮町広報編集委員会委員が四月一日付で選任されました。町の広報広聴事業全般にわたり一年間ご協力をいただくことになります。

今年度から、より充実した活動をしていただくため委員を二名増やし一六名となりました。

なお、三月三十一日付で退任された鴨川謙司さんら七名の前委員には紙面を持ちまして厚くお礼を申し上げます。

新しい委員はつぎの方々です。

井上進、国松善一郎（副会長）、斉藤富生枝、古林ミチ、高橋宏利、池田菊子、武市晴午、藤森道子、朝倉俊子、茅ケ崎なおからも、西山長吉、古沢二郎、西山喜徳郎（会長）、加藤利助、西山コメ、池田助役、西山企画課長（敬称略）

丸太の遊歩道に二万八千人

昨年八月十三日、吾妻山に開設した丸太の遊歩道の利用者は三月末までに二万八、一六四人（子ども一万八、五九三人、おとな九、五七一人）にのぼりました。

利用者は町内の方はもとより、小田原や平塚、茅ケ崎などからも訪れ、日曜日や祝祭日、夏休み、春休みなどは多くの子ども達でにぎわっていました。

現在の施設は三ポイントですが今年度、一ポイントを増設し、水道や便所も設置します。

なお、土曜日、日曜日、祝祭日には係員を派遣していますので、困ったことなどがありましたらご連絡ください。

利用時間は午前九時から午後五時まで（四月～十月）です。

郷土誌とソノシートが在庫

「二宮町郷土誌」（昭和四十七年発刊、頒価一、二〇〇円）ならびに「二宮町民歌」（昭和四十九年吹込み）のソノシートが多少あります。

ご希望の方は教育委員会へお申出ください。

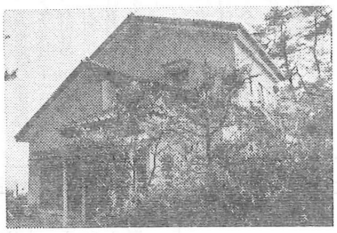
街のできごと

梅沢老人憩の家が完成

四月一日、梅沢老人憩の家が完成しました。

これは町が昨年十一月から約二、〇〇〇万円をかけて建てたもので、海岸が近く静かな場所です。

建物は木造瓦ぶきの二階建て、二一七・四坪（八五坪）あり町内全部が所のうち一番大きなものです。



梅沢老人憩の家

一階はりっぱな調合が付いた二七畳の大広間と老人保健指導室、管理人室などのほか、台所や浴室もあります。二階にも二一畳の広間や台所があり、地域の会合などにも使われることになります。

利用する場合は梅沢東区の小沢区長（電話71―一九五五）へ申し込み、梅沢中区の田津原区長（電話71―二五三四）から鍵を借りてください。

素人のど自慢公開録画

NHK素人のど自慢大会の公開録画が四月二十九日、二宮小学校体育館で行われました。

予選は二十八日に二宮町公民館と二宮小学校音楽室で行われて、二一七・四曲三五〇人がテストを受けました。このうち、約四分の三が男性で、町内の参加者は七四人でした。

本番の公開録画には都はるみさとう宗幸の両ゲストを迎え、金子アナウンサーの司会で、二〇倍近い予選をパスした二五人が自慢ののどをつぎつぎにひろうしました。その結果、チャンピオンは「なみだ舟」を歌った平塚の細野義雄さん、特別賞は「秋田節」を歌った茶屋の田嶋カンさんが受賞しました。田嶋さんは今年九十五歳、出場者の中では最高齢者で、二長寿の里にふさわしく元気いっぱい歌いました。また、二宮町舟唄保存会の西山吉蔵さんら有志五人による舟唄ならびに裁培の北陸であるみかんなどの紹介もありました。

なお、放送は五月二十日の予定です。

フィナーレ

1日 梅沢老人憩いの
2日 町政事務連絡委
6日 仮称町立第二中
7日 選挙管理委員会
8日 県知事選挙投票
9日 県知事選挙開票
11日 身体障害者歩行
20日 広報編集委員会

がんは予防できる

＝早く見つけて早く治そう＝

脳卒中について死亡率の高いのががんです。特に働きざかりの30歳から69歳までの死亡原因の1位です。男性は4人に1人、女性は3人に1人の割合で尊い命をがんで失っています。

がんは早期なら完治します。早期発見に最も良い方法が健康診断です。毎年1回定期的に受けましょう。

集団検診実施日程

対象　満40歳以上の希望者（子宮がん、乳がんは満30歳）

定員　胃がん・各会場60名、子宮がん・160名、乳がん・120名それぞれ申込先着順で、定員を超えた場合はおことわりする場合もあります。

会場・期日

○胃のレントゲン検診（受付けは午前9時～11時30分）

二宮保健ステーション　6月5日、10月6日、2月11日

社会福祉センター　7月10日、11月24日、3月11日

茶屋老人いこいの家　9月29日

○子宮がん検診（受付けは午前10時～10時30分、午後1時～1時30分）

社会福祉センター　10月27日

二宮保健ステーション　2月19日

○乳がん検診（受付けは午前9時30分～10時、午後1時～1時30分）

社会福祉センター　10月27日

二宮保健ステーション　2月19日

費用　いずれも無料

申込み　ハガキか電話で住所、氏名、年齢、希望日（子宮がん、乳がんは午前・午後の別で）を衛生課へご連絡ください。なお、申込期間等はそのつど本紙お知らせ版をご覧ください。

その他　受診票は検診日までに郵送します。

赤十字の社資募集

役員が各家庭を訪問

五月一日から一か月間「赤十字社員増強運動」が全国で展開されています。

この運動の目的は、みなさんに赤十字を理解していただき、赤十字の社員になっていただこうというものです。

みなさんは赤十字の活動をご存知ですか。

国際救援、災害救護、看護婦養成、血液事業、救急法や水上安全法、家庭看護法などの講習会の開催、青少年赤十字の育成など多彩です。これらの事業は人道博愛の精神のもとに世界各国と手を取り合い"生命を救おう"を合言葉に続けられています。

また事業資金は、みなさんが赤十字社員になって毎年納めていただく社費によってまかなわれています。

赤十字の社員になるのに、何もむずかしい手続きや特別の資格はいりません。赤十字の奉仕者（区長、組長、民生委員等）がお宅にお伺いしたとき、社費（三〇〇円以上）を添えてお申込みになればそれであなたは赤十字社員として登録され、赤十字を通じて世界の平和と人類の福祉につながる人道的な事業に参加することになるのです。

なお今年の町の目標は一二一万二五〇〇円で、五月から六月にかけて区長・組長または民生委員がみなさんのお宅を訪問しますのでご協力ください。

老人医療証の書替えを

老人医療費受給者証または高齢者医療証の交付を受けている方は現在お持ちの受給者証が、六月三十日で使用期限が切れるため、ここで受給者資格の更新申請が必要です。

申請を出さないと、引き続き老人医療費を受ける資格があっても実際に七月以降の医療費が支給されないこともあるので必ず申請してください。

申請の日どりは、今月下旬を予定していますが、本人には別に通知します。

なお、申請には次のものが必要です。

①健康保険証
②老人医療費受給者証または高齢者医療証
③印鑑

お問合せ等は福祉課へ

老人居室整備資金の貸付け

県では、お年寄りと同居して、なごやかな生活をしていただくため、お年寄り専用の部屋を増改築また新築する場合、資金の貸付けを行います。

貸付が受けられる方

一、現在六〇歳以上の老人と同居または増改築、新築後一か月以上に同居できる方

二、県内に一年以上住所のある方

三、貸付金を償還できる方

貸付けの対象となる工事

借入れ希望者の所有または借用している家屋の増改築および新築

貸付の条件

一、貸付予定数　全県で一〇〇件（第一回一七〇件、第二回三〇件）

二、貸付限度額　一二〇万円

三、利息　年三%

四、償還　六か月据置後、月賦半年賦、年賦のいずれかにより九年六か月で償還する。

申込み

第一回　五月二十一日～六月九日（十一月までに着工可能の方）申込用紙等は五月十四日より福祉課でお渡しします。

第二回　九月二十五日～十月十三日（五十五年三月までに着工可能な方）

吾妻山に挑戦

身障者歩行訓練会

四月十一日、若葉が目にしみる吾妻山遊歩道を利用して、身体障害者歩行訓練会が行われました。

澄んだ青空のもと、半身マヒ、盲人、義足の方など町内の身体障害者三五人が参加、春風をかいだ全体に受けて、元気に開始しました。

途中三回の休憩をはさみ、丸太の遊歩道に興じたり、ボランティアの方に励まされながら、釜野トンネル脇の登り口から約十二時の起伏を一時間程で社会福祉センターまで元気に歩き、入浴して疲れをいやしました。

「同じ仲間だと気がねもなく、こんなに歩けた」「この日のくるのを楽しみに、今日は、朝の散歩をいつもより少な目にした」などの感想が聞かれ、次回が予定されている九月末を楽しみに話がはずんでいました。

五月の家庭園芸

野菜

旬）

病害虫防除

病害（ダイセンまたはダイアー水和剤五〇〇倍、害虫（マラソン剤二〇〇〇倍）

果菜類の植えつけ（上・中旬、ナス、トマト、キュウリ、ピーマン、カボチャ、スイカなど）

支柱立て、誘引、整枝

春まき野菜の種まき

エダマメ、インゲン、トウモロコシ、ニンジン（短根）、ゴボウ、ホウレンソウ（西洋種）、オク（鮎、キュウリ（直まき）

ラッカセイの種まき（上旬）

ショウガの植えつけ（上旬）

サツマイモの植えつけ（中・下旬）

果樹

病害虫防除（共通）

病害（トップジンM、一五〇〇倍）、害虫（スミチオンかマラソン乳剤一〇〇〇倍）

モモ・ナシ（摘果、袋がけ）

カキ（人工受粉）

ブドウ（芽かき、誘引）

花・植木

病害虫防除（共通）

マツのみどり摘み（芽摘み）

盆栽の芽摘み

常緑樹の植えつけ（新梢のやわらかいうちは避ける）

バラの追肥（花のあと）

大輪ギクのさし芽

草花の移植と追肥

アサガオの種まき（上旬）

芝の植えつけ

（神奈川県園芸試験場）

池田収入役油絵を寄贈

社会福祉センターに春陸・池田精一郎収入役から「このみやをたになう」と題した油絵と額縁が寄贈されました。

この絵は P一〇〇号で、休日や夜など毎日少しずつ約半年かかって描き上げたそうです。

寄贈に当って池田収入役は「役場庁舎の竣工を記念するとともに、全町民が町をになう力となってほしいという願いを込めて作画しました。それにはみんなが日常生活の中で町を思い、りっぱな町をつくろうとする心を持ってもらいたい。町職員の一人としてもせひこうありたいと思う気持を表現した」と話していました。

おしらせ

善意

二宮町善意銀行へ

金一万五〇〇〇円　上町　西山　徹さん

金一〇万円　二宮町青果商組合

金一万八〇〇〇円　匿名

金二万円　婦人会二町支部

金三〇〇〇円　谷戸　桧山広次さん

金一万円　匿名

カンナの球根　梅沢　小島　高さん

二宮町社会福祉センターへ

廃法ビン　二宮事業団自治会

二宮町教育委員会へ

花の種子　妙見　小沢吉蔵さん

下敷　神奈川県トラック協会平塚支部

川勾　田後六治さん

旧吾妻神社の社殿彫刻　梅沢地区

二宮町図書館へ

吉田松陰とその門下他三三冊

原田　宇山純正さん

私の教育論　他一一冊

茶屋　春原　憲さん

ナイルに死す　他一冊

梅沢　広江朝子さん

郷土資料室へ

鐘（葬儀の際、一番、二番、三番鐘として合図の為に鳴らした鐘）

念仏講規約・役勤め帳など　茶屋町念物講

足踏み脱穀機　田後

編み物手芸全書　主婦と生活社

北山・東山の美術（日本美術全集）　金沢　弘編

ピラミッド　デビット・マコーレイ

分子の形とはたらき（岩波科学の本）　竹内　敬人

（二宮町図書館）

少年野球開催中

少年野球学童部の第七回春季大会は県大会の出場権をかけて二宮中学校のグランドで熱戦を展開中です。ご声援ください。

とき　五月十三、二十七日、六月十日（いずれも日曜または祭日）　九時より

主催　二宮町少年野球協会

なお、お知らせ版五月号の鈴木定雄氏の誤りです。訂正しておわびします。

転居届を郵便局に

転勤などで、住所が変わったときは郵便局にも転居届けを出してください。

転居届の用紙は郵便局、役場にありますが、普通はがきに旧住所、新住所、家族の名前、転居年月日を書いて、最寄りのポストにお出しください。

転居届が出ると、旧住所あての郵便物を、新住所へ一年間転送しますが、主な通信先へはなるべく早く新住所を知らせておきましょう。（二宮郵便局）

防犯運動標語募集

警察庁、全国防犯協会連合会などが主催で募集します。

テーマ　①空き巣の防止　②自転車盗の防止

区分　テーマごとに「一般の部」「児童・生徒の部」

応募要領　①応募作品は自作未発表のもの　②応募作品には、「一般の部」は住所、氏名（ふりがな）、年齢、職業を「児童・生徒の部」は、住所、氏名（ふりがな）、年齢、学校名を明記

締切り　五月三十一日

提出および問合せは企画課へ

桜美園テニスコートの利用申込み

いままで、桜美園テニスコートの利用は、使用日の一か月前の八時三〇分に受付を開始し、先着順により利用者を決定してきました。

このたび希望者の利便をはかり、きたる五月二十一日（月）より、利用日の一か月前該当日（例上六月二十五日に利用する場合は五月二十五日）に限り、受付を九時よりとし、各時間帯（九～一〇時、一一～一三時、一三～一五時、一五～一六時）ごとに申込みが二人以上になった場合は、抽選により利用者を決定することといたします。

前記以外の申込みは従来どおり先着順に受付けます。

お問合せは教育委員会へ

役場人事

△退職▽三月三十一日付　住民課主事補宮原みづ江

△昇格・配置がえ▽四月一日付　議会事務局庶務係長池田左男　福祉課児童福祉係長小沢一夫　消防本部庶務係長伊勢田三喜郎　出納室出納係長松本喬　税務課主事堀江忠一　出納室主事守屋寧子　税務課主事佐久間貞輔　教育委員会事務局主事庶山明　福祉課主事補石黒孝　住民課主事補坂本真砂子

△採用▽四月一日付

住民課主事補鎌ケ江学　建設課主事補諸星勉　議会事務局主事補秋沢靖久　税務課主事補真壁茂　衛生課主事補安部健治　衛生課保健婦富沢保子　消防本部消防士小島勇　消防本部消防士布施剛

採用および昇格・配置がえ職員の肩書きは新職名、退職者は在職当時の職名です。

今月の納期

固定資産税	第1期
軽自動車税	全期
国民健康保険税	第1期

5月31日まで

町の人口（人口統計より）

	4月1日現在	前月との比較
人口総数	26,330人	＋6人
男	13,030人	＋19人
女	13,300人	＋25人
世帯数	7,206世帯	＋7世帯

編集室

○この広報は五月九日、企画課を発送しました。

○「広報にのみや」へのご意見は企画課へお寄せください。

わが子への愛を世界のどの子にも

今年は国際児童年です。児童は心身ともにすこやかに生まれ、育つとともに、生活は保障され、愛護されなければなりません。すべての児童のすこやかな成長を願って、相談施設や制度が設けられています。

児童相談

児童相談所や家庭児童相談室では、専門的な立場から児童についてのあらゆる相談をお受けしています。

また、電話で気軽に相談できるように、県児童相談所には「こどもテレホン相談室」が設けられていますのでご活用ください。

里親（養育家庭）制度

親の病気や行方不明などで親もとを離れて生活しなければならない児童に、温かい愛情に満ちた家庭が与えられます。

緊急短期委託里親制度

親の疾病、出産、事故などで、短期間、児童を養育できなくなった場合、里親に養育を委託できます。

児童手当

義務教育終了前の児童を含む3人以上の児童を養育している方に支給されます。

児童扶養手当

父と生計をともにしていない児童を監護する母または養育している方に支給されます。

特別児童扶養手当

20歳未満で精神または身体に障害のある児童を監護する父、母または養育する方に支給されます。

お問合せは小田原児童相談所（電話0465―23―0388）へ。